

けんぶち ふれあいネットワーク 社協だより

2018年2月

No. **91**

発行

社会福祉法人

剣淵町社会福祉協議会

〒098-0338 上川郡剣淵町仲町28番1号 ふれあい健康センター内 Tel 0165-34-3922



剣淵高校で 「ふれあい昼食会」

みんなと食べる
ごはんは「おいしい」

ふれあい昼食会は、高校1年次生とレクリエーションなどをして、バランスのとれた食事を食べながら、交流を深める場となっています。

平成30年2月6日 開催

主な内容

- 会長年頭所感
- 第4回ボランティア研修・交流会
- 剣淵高校でふれあい昼食会 (30.2.6)
- ふれあい昼食会 (28.11.8)
- りんどう、いきいきルーム忘年会
- ご寄附をいただきありがとうございました
- 赤い羽根共同募金結果報告
- 歳末たすけあい募金 結果報告
- 小地域ネットワーク活動
- ふれあいサロンをつくりませんか？



平成30年 年頭所感

◇「我が事・丸ごとの地域共生社会」 実現に向けた動き◇

社会福祉法人 剣淵町社会福祉協議会 会長 齊藤 實

- ◇ 新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで、平成30年の新年を迎えられましたことお喜び申し上げます。
- ◇ 日頃、町民の皆様には社会福祉協議会の運営をはじめ、各種事業やボランティア活動等に深いご理解とご協力、ご支援をいただいております。また、本会が昨年4月、介護予防と日常生活支援総合事業の一環として開設した通所型デイサービスセンター「りんどう」には、その利用者として現在38名が登録し、自身の生活機能の維持、向上のために通所されています。この場をお借りして心から感謝とお礼を申し上げます。
- ◇ 本会は、町民の皆様の社会福祉に寄せる熱い思いと期待、そして助け合いの精神によって支えられ成り立っています。今後もこうした町民の皆様の負託に応えられるよう、温かく優しい地域社会の構築に努力していきたいと思います。
- ◇ 本会は、一昨年（平成28年）、社会福祉法の改正により社会福祉法人としての役割、責務が法令上で明確にされたところですが、さらに昨年5月26日、国は地域における住民主体の課題解決力の強化と、地域包括ケアシステムの強化を図って新しい地域社会というべき、「地域共生社会」の実現を目指すため、介護保険法・社会福祉法の一部改正を行い、6月2日この改正法を公布しました。工程では平成32年代初頭での全面展開を予定しています。
- ◇ 国が目指す新しい「地域共生社会」とは、制度や分野ごとの縦割りや支え手、受け手という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が地域で抱えるいろいろな生活課題を「我が事」として捉え解決のために参画します。さらに、地域に住む人たちが世代を超えて「課題丸ごと」「世帯丸ごと」受けとめる場をつくり、つながりをもって、地域をより豊かに、安心感・生きがいを生み出す仕組みへと転換を図り、支え合いを大事にする地域社会を共に創っていくことです。
- ◇ いま、町が直面している少子高齢化による人口の減少は、徐々に地域力を弱め、あらゆる福祉活動の推進を阻害する恐れがあります。増加する一方の高齢者や利用者に対し、それを支える人たちは少なく、このままでは多様な地域福祉を維持することさえ困難になる心配もあります。町民一人ひとりや社会福祉を目的に事業を経営する人、社会福祉に関する活動行う人たちが相互に協力し、社会福祉サービスを必要とする人たちが日常生活を営みながらも、社会、経済、文化などの分野活動に参加する機会を少しでも確保できるようにしてあげる必要があります。このためには「他人事」を「我が事」に置き換える意識の醸成を急がなければならないと考えます。地域や世帯が抱える福祉、介護、介護予防、保健医療、住まい、就労、教育、社会的孤立などの解決のためには、町行政をはじめ、関係支援機関との連携、町民の皆様の積極的な参画で担える役割を分担し、支え合う地域共生社会を構築することが重要ではないでしょうか。
- ◇ 先日、私はタイトルが「未来の年表」、サブタイトルが…人口減少日本でこれから起きること…という小冊子（著者：河合雅司＝講談社）を読みました。表紙に書かれていた見出しは、

2020年 女性の半数が50歳超え
 2027年 輸血用血液が不足
 2039年 火葬場が不足
 2042年 高齢者人口がピークを迎える

2024年 全国民の3人に1人が65歳以上
 2033年 3戸に1戸が空き家に
 2040年 自治体の半数が消滅

というものでした。どれも人口減少に関するデータに基づいたもので、この予測が現実のものとなるかどうかはわかりませんが、少子高齢化がもたらす人口減少社会の本物の厳しさと怖さというものを痛感しました。

- ◇ 計画から5年目を迎える本会の地域福祉実践計画は平成30年度が実践の最終年度となります。前述の「地域共生社会」へと転換を図るとき、本会は社会福祉法人としてどのような役割を果たすべきか、これから試練の年を迎えることになりそうです。地域福祉実践計画の基本理念でもある「助けあい…思いやりのあるまち…剣淵町」を目指し、町行政をはじめ、町内福祉関係団体等と連携し地域福祉の推進、充実に努めたいと思います。そのためには、本会に対する町民の皆様の絶大なるご支持と、法人運営や各種事業、各種活動への積極的な参画をお願いしたいと思います。
- ◇ 本会は、地域福祉の担い手として、高齢になっても自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう支え合いのできる温かく優しい地域社会の構築のために役職員一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。今後とも町民の皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

社会福祉法人 剣淵町社会福祉協議会 役員	
《会長》 齊藤 實 (学識経験者)	《副会長》 柴田 泰成 (学識経験者)
《理事》 山崎 敬一 (JA北ひびき副組合長理事)	藤原 光男 (剣淵商工会会長)
渡辺 一美 (剣淵北斗会理事)	秋庭 良雄 (自治会連合会副会長)
浅野 徳松 (老人クラブ連合会副会長)	二階堂 敏子 (剣淵商工女性部部長)
朴澤 日砂恵 (赤十字奉仕団副委員長)	《監事》 島山 信 (剣淵北の杜舎施設長)
西村 京子 (民生児童委員協議会副会長)	

第4回 剣淵町ボランティア研修・交流会

ボランティアセンター運営委員会（中上勝也委員長 委員7名）が企画・運営した第4回ボランティア研修交流会が10月20日(金)、一般参加者、サロンサポーター、赤十字奉仕団、町内関係者等29名が参加され開催されました。

講師として旭川地方气象台予報官 吉田誠哉さんを招き、「大雨に備える」という演題で、上川地方の特性の説明、平成28年7月31日の大雨、8月の台風上陸により、道内で発生した大災害を振り返りました。近年、異常気象によるゲリラ豪雨等の災害に備えることの大切さを学びました。



剣淵高校で「ふれあい昼食会」

2月6日（火曜日）、ふれあい昼食会に29名の方が参加し、剣淵高校体育館にて開催されました。

生徒の皆さんが用意してくれたレクリエーション「しりとりお絵書き」「ペットボトルボウリング」を行い楽しんで過ごされていました。高校1年次生とふれあいながら、給食をいただき食事後は、手話歌を披露していただきました。

剣淵高校の生徒の皆さん、教員の方々、本当にありがとうございました。



ふれあい昼食会

11月6日(月)ふれあい健康センターにて開催し、57名の方が参加しました。今回のアトラクションは電話詐欺防犯対策DVD「母と息子と言葉の物語」を観賞しました。昼食は、赤十字奉仕団の皆さんの手料理を美味しくいただきました。



デイサービスセンター りんどう・いきいきルーム 忘年会

～わきあいやりと交流～

12月27日(水)「デイサービスセンターりんどう・いきいきルーム忘年会」を開催しました。鍋料理を頂きながら、ビンゴゲーム等を行い、楽しんで過ごしていました。



福祉のためにご寄附を頂いた方々 温かいおもいやり ありがとうございます

剣淵中学校より



10月31日▶学校祭模擬店の益金を、ご寄附していただきました。

剣淵町ライオンズクラブより



12月11日▶ビールパーティーの益金を、ご寄附していただきました。

北海道 コカコーラボトリング(株)より



12月13日▶コカコーラ製品を寄贈していただきました。

JA北ひびき女性部より

8月2日▶第30回ふれあい広場の出展寄付をいただきました。

ご支援・ご協力ありがとうございました 平成29年度 赤い羽根共同募金 結果報告

剣淵小学校より



11月2日▶剣淵小学校を代表して児童会会長、岡佳那（けいな）さんより、斉藤会長に学校募金が手渡されました。

「じぶんの町を良くするしくみ」

昨年10月から始まりました「赤い羽根共同募金運動」に心温まる善意の募金を寄せられました町民の皆様にご心から感謝とお礼を申し上げます。

赤い羽根共同募金は「自分の町を良くするしくみ」と言われています。寄せられた募金が北海道共同募金委員会を通じて様々な福祉活動や被災地支援に約立てられる一方、そのほとんどが配分金として地元に戻され、町民の皆様のさまざまな活動助成や、地域福祉活動に活用されています。

区 分	募金額	内 容
戸別募金	304,800円	自治体を通じて1戸@300円の募金にご協力いただきました。
大口募金	582,000円	個人と企業や商店を対象とする篤志募金です。
学校募金	10,569円	小学校の児童・中学・高校の生徒さんからの募金です。
職域募金	120,151円	企業、団体、官公庁等の職員の皆さんからの募金です。
募金箱他	5,591円	絵本の館、農協、郵便局、ひらなみ荘、商工会、社協の募金箱
自動販売機	61,124円	赤い羽根自動販売機利用の配分金として受けております。
合 計	1,084,235円	

共同募金の使い途

○全道各地の福祉活動に助成	179,000円
道内各地の施設の運営や在宅福祉活動の推進、ボランティア活動推進のほか、災害時には被災地支援・ボランティアセンター設置・運営等にも使われています。	
○町内の福祉活動に使用	905,235円
●老人福祉に助成（敬老会助成）	329,235円
●総合福祉助成（広報誌発刊）	210,000円
●児童・青少年育成（子供会助成）	42,000円
●募金経費	74,000円
●体験・交流等（ふれあい広場助成）	250,000円

ご支援・ご協力ありがとうございました

平成29年度 歳末たすけあい募金 結果報告

12月からご協力をお願いしておりました「歳末たすけあい募金」につきましては、町民のみなさまのあたたかいご支援ご協力をいただき、誠にありがとうございました。心より厚くお礼申し上げます。

歳末たすけあい募金は新たな年を迎えるにあたり、全町民が明るく安心して年を越せるように、住民相互が助け合う募金です。

寄せられた募金は、民生児童委員協議会等の意見をもとに、共同募金委員会で慎重に助成先を審議し、年末に助成金としてお届けいたしました。



歳末たすけあい募金 結果報告

募金協力団体等	募金額
剣淵町議会議員協議会	20,000
剣淵町農業委員会委員	12,000
剣淵町教育委員会委員	5,500
剣淵町自治会連合会	11,000
剣淵町民生児童委員協議会	13,000
北ひびき剣淵基幹支所役員親睦会	6,000
北ひびき農協剣淵基幹支所職員	17,300
剣淵商工会役職員	13,000
剣淵ライオンズクラブ	37,710
剣淵町老人クラブ連合会	13,277
剣淵町赤十字奉仕団	12,700
剣淵郵便局職員	1,231
北星信用金庫剣淵支店職員	2,599
(株)レークサイド桜岡職員	1,292
剣淵北斗会役員	8,000
剣淵西原学園職員	34,000
剣淵北の杜舎職員	30,000
剣淵ひらなみ荘職員	30,000
グループホームしおり	17,000
剣淵小学校教職員	10,535
剣淵中学校教職員	5,339
剣淵高等学校教職員	2,935
剣淵町役場職員	76,782
剣淵町高齢者事業団役職員	12,000
剣淵町社会福祉協議会役員	14,000
剣淵町社会福祉協議会職員	12,000
戸別募金 (@200円×1,016戸)	203,200
前年度繰越金	169
合計	622,569

歳末たすけあい募金 助成先

区分	件数	金額
独居老人世帯	2	32,000
母子父子世帯	8	188,000
地域生活障がい者	31	177,000
福祉施設	4	175,000
地域福祉活動支援	1	50,500
計		622,500
助成経費・翌年度繰越		69

小地域ネットワーク活動とは…？

住み慣れた地域で「安心して安全に暮らせる地域社会創り」につなげる事業を進めていきます。各地域で見守り、声掛け、援助活動などを福祉委員が中心となり自治会、地域の人たちの協力を得ながら住みよいまちづくりを目指します。

この活動には、「ニーズを発見する機能」と「助け合いをする機能」があります。身近な方や近所の方の見守りや声掛けで、安否確認を行い生活や健康上での変化に気が付くことが出来ます。また、ふれあいサロンの開催、自治会交流会等への招待などの期待をされています。



平成30年度 福祉委員 ご紹介（敬称略）

西 町	高橋 由佳里	南桜町	浅野 修
緑 町	細田 和子	西岡町	若林 輝一
仲 町	大石 由希	西原町	國井 聡
元 町	小野寺 清美	東 町	杉島 智
屯田町	齋藤 和幸	藤本町	遠藤 正男
旭 町	鈴木 康雄		

つえ・アイスピック助成

高齢者や体が不自由な方に「つえ」とアイスピック（冬期杖の先につける滑り止めの金具）の購入の助成を行います。利用を希望される方には、半額助成で現物をお渡しいたしますので、自己負担金をご持参の上、社協事務局までお越しください。

☆自己負担額／つえ 700円・アイスピック 500円

ふれあいサロンを作いませんか？

ふれあいサロンは剣淵町内5つの地区で開催されています。ご相談は、社会福祉協議会、地域包括支援センターへ。



皆さんでお茶を飲みながら話をしたり、クリスマスの飾り作りをしたり、ゲーム、ふまねっと、体操等を楽しんでいます。



「けんぶち社協だより」は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています